

1 教育目標

(1) 学校教育目標

個々の障がいの状況と心身の発達に応じた教育活動を通して、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るとともに、人間性豊かにたくましく生きる幼児児童生徒を育てる。

〔めざす子どもの姿〕

- (ア) 意欲的で主体性のある子
- (イ) 豊かな情操をもち、協調性のある子
- (ウ) 健康で、たくましく生きる子
- (エ) 豊かにコミュニケーションできる子

(2) 学部教育目標

- ア 主体的に課題に取り組もうとする意欲や態度を育て、学習能力の向上を図る。
- イ 集団での学習や体験を通して、友達への思いやりや協力する心を育てる。
- ウ 心身の健康の保持増進や体力の向上に努めようとする態度を育てる。
- エ 相手の話をよく聞いたり確実に相手に伝えようとしたりする態度を育て、コミュニケーション能力の向上を図る。

2 指導の重点及び教育課程編成の方針

(1) 指導の重点

- ア 言語活動や個に応じた学習方法、評価を工夫することで基礎的・基本的な知識及び技能を高める。
- イ 主体的に判断したり行動したりする態度を育てる。
- ウ 互いの良さを認め合い、相手の立場に立って行動する態度を育てる。
- エ 健康で安全な生活を送るための知識を増やし、実践する態度を育てる。
- オ 一人一人の自己有用感や自己肯定感を高めることができるように、実践や体験活動の充実を図る。
- カ 互いのコミュニケーション手段を理解し、使い分けながら伝え合おうとする力を高める。
- キ 挨拶や返事をする習慣を身に付け、周囲の人と気持ちよくかかわり合う態度を育てる。

(2) 教育課程編成の方針

- ア 個々の実態を的確にとらえ、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、実態に即した指導をする。各教科等の指導に当たっては、基礎的・基本的な知識及び技能の活用にかかる学習活動を進めるとともに、語彙の習得及び言語活動に関する能力の育成に努める。
- イ 必要に応じて、当該学年の前各学年の目標及び内容の一部又は全部に替えた各教科及び自立活動による教育課程を編成する。
- エ 「外国語活動」については、児童の興味・関心に合わせて、外国の言語や文化について、体験的に理解を深める指導をする。
- オ 「自立活動」については、個々の児童が自らの学習上又は生活上の困難を理解し、よりよい生活を送るために主体的に取り組もうとする意欲を育てる指導を行う。
- カ 「総合的な学習の時間」については、体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した、課題解決的な学習を行う。

- キ 教科等の特質に応じた体験活動を体系的・継続的に実施することができるよう、行事や校外学習などを計画的に設定する。
- ク 「道徳教育」については、児童の発達段階をふまえ、社会生活上の決まりを身に付け、善悪を判断して行動する等、道徳性を育むことができるよう道徳科の時間を要に、全教育活動を通して指導する。
- ケ 「特別活動」については、学級活動、児童会活動及び学校行事等の集団活動を通して、積極性や社会性を養う指導をする。
- コ プログラミング教育については、プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を各教科等の特質に応じて計画的に実施する。
- サ 八戸盲学校小学部との交流や地域の小学校との交流及び共同学習を通して、経験の拡充を図り、協調性や社会性を養う。
- シ キャリア教育の視点に立ち、幼稚部や中学部と一貫性をもたせた教育課程を編成する。

3 各教科等及びその授業時数

(1) 小学校に準じた各教科等及び自立活動で編成する教育課程

入学年度		令和3年度～令和8年度					
教科等	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
国語		3 0 6	3 1 5	2 4 5	2 4 5	1 7 5	1 7 5
社会				7 0	9 0	1 0 0	1 0 5
算数		1 3 6	1 7 5	1 7 5	1 7 5	1 7 5	1 7 5
理科				9 0	1 0 5	1 0 5	1 0 5
生活		1 0 2	1 0 5				
音楽		6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0
図画工作		6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0
家庭						6 0	5 5
体育		1 0 2	1 0 5	1 0 5	1 0 5	9 0	9 0
外国語						7 0	7 0
外国語活動				3 5	3 5		
自立活動		6 8	7 0	7 0	7 0	7 0	7 0
総合的な学習の時間				7 0	7 0	7 0	7 0
小計		8 5 0	9 1 0	9 8 0	1 0 1 5	1 0 1 5	1 0 1 5
特別の教科 道徳		3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5
学級活動		3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5
合計		9 1 8	9 8 0	1 0 5 0	1 0 8 5	1 0 8 5	1 0 8 5
履修人数		人	3 人	1 人	1 人	2 人	2 人
備 考		・ 小学校の各教科等に準じた目標及び内容を取り扱う。 ・ 児童の障がいの状態に応じて一部の教科については前各学年の目標及び内容の一部又は全部を取り扱う。 ・ 自立活動は、毎日20分間程度の短い時間を単位通して行う指導を設定する。 ・ 1単位時間は、45分とする。 ・ 給食指導は、授業時数に含まない。 ・ クラブ活動は、4年生以上が年間8時間実施する。					

(2) 各教科の全部を知的障がいのある各教科に替えて編成する教育課程

入学年度		令和3年度～令和8年度					
教科等	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
生	活	170	210	280	315	315	315
国	語	136	140	140	140	140	140
算	数	102	105	105	105	105	105
音	楽	68	70	70	70	70	70
図 画 工 作		68	70	70	70	70	70
体	育	102	105	105	105	105	105
外 国 語 活 動				35	35	35	35
自 立 活 動		204	210	175	175	140	140
総合的な学習の時間						35	35
小	計	850	910	980	1015	1015	1015
特別の教科	道徳	34	35	35	35	35	35
学 級 活 動		34	35	35	35	35	35
合	計	918	980	1050	1085	1085	1085
備 考	履修人数	人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		・社会生活に必要な基礎的・基本的事項の習得を図り、その知識・技能を生かしてよりよく生活する力を育てることに重点を置いて指導する。 ・自立活動は、毎日20分間程度の短い時間を単位通して行う指導と特設した時間における指導を設定する。 ・1単位時間は、45分とする。 ・給食指導は、授業時数に含まない。 ・クラブ活動は、4年生以上が年間8時間実施する。					

4 総合的な学習の時間の概要

(1) 名称 八ろうタイム

(2) 指導計画

	主な学習内容	学習の過程
横断的・総合的な課題	【情報】 3～6年共通 「ICTを活用しよう」 (8時間) ・パソコンやタブレット端末、デジタルカメラ、ビデオなどの情報伝達機器を活用して、情報を収集・整理・発信する。 【地域理解】 3年・4年 「八戸のいいところ見つけ隊！」 (32時間) 3年 「もっと知りたい八戸市」 (12時間) ・地域に関する調べ学習を通して、地域の良さと地域のために働く人々の工夫や努力、願いに気づく。 ・公共施設や公共交通機関の利用の仕方等について学ぶ。 5年・6年 「八戸のこと広め隊！」 (22時間) ・地域の特色について調べ、発信する活動を通して、地域文化への理解を深める。 ・公共施設や公共交通機関の利用の仕方等について学ぶ。 5年 「誰もが住みやすい八戸市」 (12時間) ・地域の福祉について調べ、福祉について知るとともに、福祉に携わる人々の願い等にも気づく。	「課題の設定」 ・教科学習及び体験活動などを通して、課題を設定し、課題意識をもつ。 ↓ 「情報の収集」 ・必要な情報を取り出したリ収集したりする。 ↓ 「整理・分析」 ・収集した情報を整理したり分析したりして思考する。 ↓ 「まとめ・表現」 ・気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し表現する。
児童の興味・関心に基づく課題	【読書】 3～6年共通 「本と出会おう」 (4時間) ・本との出会いを通し、読書の楽しさを味わい、友だちと共有する。 4年 「成長をふりかえろう」 (12時間) 知的5年 (12時間) ・今までの自分がどのように成長してきたのかを振り返り、これからの生き方について考える。 6年 「卒業プロジェクト」 (12時間) 知的6年 (12時間) ・小学部での自身の成長を振り返るとともに、中学部へ向けた意欲と希望をもつ。	
地域や学校の特色に合わせた課題	【交流及び共同学習】 3～6年共通 「友だちの輪を広げよう」 (4時間) ・交流学习を通して、他校の友だちとよりよくなかかわるためのコミュニケーションの在り方について考える。 【行事との関連】 3～6年共通 「学習発表会」 (10時間) 知的5～6年 (10時間) 5年 「宿泊生活学習」 (10時間) 知的5年 (13時間) 6年 「修学旅行」 (10時間) 知的6年 (13時間)	

(3) 学習形態

学級ごとの学習を基本とする。児童の実態や学習内容に応じて、異学年集団での活動も行う。

(4) 指導体制

- ア 学部内の密な連絡調整と支援体制による指導を行う。
- イ 地域の方をゲストティーチャー通して招いての指導を行う。

(5) 評価の観点

- ア 知識・技能
- イ 思考・判断・表現
- ウ 主体的に学習に取り組む態度

5 特別活動の概要

集団活動の中で個性を伸ばし、皆と協力したり役割を分担したりして進んで実行しようとする主体的な態度を養う。

(1) 学級活動

学校生活における望ましい人間関係を育てるとともに、健康で健全な生活を送ろうとする態度を養う。

ア 学級や学校における生活づくりへの参画に関する指導（学級会、係活動、当番活動等）

イ 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全に関する指導（生活態度、生活習慣、人間関係、健康と安全、食習慣等）

ウ 一人一人のキャリア形成と自己実現に関する指導（現在や将来の希望や目標、社会参画意識の醸成、学校図書館等の利用、キャリア・パスポートの活用等）

(2) 児童会活動（児童生徒会活動も含む）

児童会活動に参加し、友達と協力して、学校生活をよりよくしていこうとする心情や態度を育てる。

ア 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営（児童総会、児童集会 壮行式、あいさつ運動）に関する指導

イ 異年齢集団による交流（新入生を迎える会、卒業生を送る会）

ウ 学校行事への協力に関する指導

※この他、他学部（幼稚部、中学部）及び八戸盲学校との合同の活動を取り入れる。

(3) クラブ活動

異年齢集団による活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員通して協力して、自主的、実践的な態度を育てる。（第4学年以上参加）

ア クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営

イ クラブを楽しむ活動

ウ クラブの成果の発表

(4) 学校行事

学校行事を通して、集団への所属感や連帯感を深め、協力して楽しい学校生活を築こうとする主体的、実践的な態度を育てる。

6 主な学校行事

区分	行 事 名	学 年	時 期	日数又は時間数	主 な ね ら い
儀式的行事	入学式 (含新任式)	全学年	4 月	1 時間	新入生は入学した喜びを味わい、在校生は新入生の入学を祝う。
	始 業 式	全学年	4、 1 0 月	2 時間	新たな気持ちで学習に向かう。
	終 業 式	全学年	9 月	1 時間	学期のまとめをし、今までの振り返る。
	卒業証書授与式	全学年	3 月	1 日	卒業にあたり、巣立ちを祝う。
	修了式 (含離任式)	1 ～ 5 年	3 月	2 時間	一年間を振り返り、進級への希望をもつ。
文化的行事	学習発表会	全学年	1 0 月	1 日	学習の成果を総合的に発表する。
健康安全・ 体育的行事	健康診断・ 身体測定	全学年	4、8、 1 月	4 時間	健康・発育の状態を把握し、自分の健康に関心をもつ。
	交通安全教室	全学年	4 月	1 時間	規則を守り、進んで事故を防止しようとする態度を身に付ける。
	避 難 訓 練	全学年	5、9、 2 月	3 時間	災害時に安全に留意しながら機敏な行動がとれるようにする。
	運 動 会	全学年	5 月	1 日	集団意識を高め、体力の向上に努める。
	全国障害者 スポーツ大会	全学年	8 月	1 日	障がい者スポーツを観戦することで、その意義やルールを理解し、応援する態度を養う。
	冬季野外活動 及びスキー教室	全学年	1 月	1 日	冬の遊びに慣れ親しみ、スキーの基礎的な技術を身に付ける。
遠足・ 集団宿泊的行事	修 学 旅 行	6 年	9 月	2 日	集団での行動を通して、規律ある生活や態度を学ぶ。
	宿泊生活学習	5 年	9 月	2 日	
	遠 足	1 ～ 4 年	9 月	1 日	校外でのさまざまな経験を通して集団生活に必要な社会性を身につける。
勤労生産・ 奉仕的行事	大 清 掃	全学年	3 月	1 時間	生活環境の美化に努める。
	奉 仕 活 動	全学年	1 0 月	1 時間	公園の清掃や学校近隣のごみ拾い活動を通して、奉仕の心をもつ。

総 計

1 ～ 4 年	6 日 1 6 時間
5 年	7 日 1 6 時間
6 年	7 日 1 4 時間